

d. リサイクル活動

キャンパスライフで
リサイクル&リユース！

【生協店舗・食堂でのエコライフ提案】

生協では、ごみの削減対策としてコンビニで販売するテイクアウト丼や配達弁当のP&Pリサイクルを採用しています。P&Pリサイクルとは、使用済み容器「ミンミリ・リパック」を回収し、同じ容器として再生・再資源化するシステムです。

【エコ・キャンパスライドシステム】

これは、自転車のリユースのことです。回収された放置自転車と卒業時に学生が所有権を放棄した自転車を選別修理して、貸出しています。



e. 社会貢献活動

地域への
貢献！

【教育復興支援学生ボランティア活動】

東日本大震災の被災地の教育復興を支援するため、2011年度は学生ボランティアの派遣を4回行い、宮城県内の小、中、高等学校の児童生徒の学習支援を行いました。

自学自習の支援では、児童生徒がそれぞれ持ち込んだ問題集や参考資料での自習を支援。教員補助では、課外活動支援、全校集会への参加、授業補助(英語・数学・国語など)、部活動参加、机の解体作業、下駄箱の清掃その他雑務を行いました。本学では今後も長期にわたって東日本震災被災地への教育復興支援学生ボランティアの派遣を続けていく予定です。



【地域への貢献活動】

刈谷駅前を彩る「ア夸モールイルミネーション」を2011年度も本学美術科1年の有志の学生たちが制作。11月23日午後5時から、同駅前商店街ア夸モールで点灯式が行われました。本学の学生たちが同商店街と協力してイルミネーションの作成を手がけたのは2011年度が5年目で、40人余が参加。学生たちは夏休みから企画を話し合い、9月から2カ月余かけて学内で制作。2011年度のテーマは「海」。美術教育の宇納一公教授のアドバイスを受けながら、アンコウ、イルカ、タコなどの生物など約20種類のイルミネーションを金属やネット、木材など、様々な材料を利用して完成させ、商店街の歩道約500mの内の愛教大エリアに設置しました。



トップメッセージ



愛知教育大学長 松田 正久

愛知教育大学は、2011年度から4年計画で「環境研究と環境教育の融合によるエコキャンパスづくり」の取り組みを開始しました。この事業は、日本一と評価された本学の省エネ等の実績を踏まえ、教育大学としての特性を活かした環境研究、教育を展開し、安全・健康・快適な先進的エコキャンパスの創造、地域社会との協働、持続可能な社会発展のための技術開発、環境の基本を修得した教員・社会人の養成を目的とするものです。4年間で、必ずや新しい技術的な発見を含め革新的な成果が出るものと期待しているところです。

本学のエネルギー構造は車通学・通勤を含め地下資源に頼るエネルギー構造です。これをバイオマスや太陽光、風力を利用した地上資源エネルギーを少しでも増やすことにより、CO₂フリーキャンパスの創造に向けて全学一体となって取り組みます。

ユネスコスクールへの加盟

2012年1月に、ユネスコスクールの活動を支援するためのユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)に加盟しました。ユネスコスクールは持続発展教育(E S D)の推進拠点であり、本学も教員養成大学として、持続発展教育(E S D)に愛知県及び名古屋市教育委員会とも連携・協力して、貢献していきます。



国立大学法人 愛知教育大学
Aichi University of Education

環境報告書 2012 ダイジェスト

国立大学法人 愛知教育大学 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 http://www.aichi-edu.ac.jp
保健環境センター・財務部施設課 TEL 0566-26-2194 (保健環境センター) 0566-26-2152 (施設課)
E-mail: kankyo-h@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

「ユニバーサルデザインフォント」を使用しています
ユニバーサルデザインフォントとはUD(年齢・性別や障害に関係なく、あらゆる人が商品・サービス・住居・施設を快適に利用できるように配慮されたデザイン)の視点にもとづいてデザインされた書体です。



この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています

●通常の生活ごみ●

廊下などに設置



建物ごとに設置



クラブ・サークル課外活動からでる廃棄物

学生支援課に
聞いてください



大学祭などからでる
廃棄物

実行委員会に
聞いてください



分別カードを
持ち歩こう！

財布等に入れて、いつでも確認
できるようにしておきましょう。

国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

a. 環境に関わる教育・研究

環境分野の
メニューも
充実！

【誰でもできる環境教育プログラムと学校での活用】

理科教育講座 大鹿 聖公

環境教育は、特定の教員や専門家が行うものではなく、すべての教員がすべての子どもに対して行うべきものと考えています。野外生物をテーマとした「プロジェクト・ワイルド」や水をテーマにした「プロジェクトWET」といった、専門的な知識を必要としない体験的環境教育プログラムを講義に導入しています。学内での講習会で指導資格を得た学生たちが、学校現場や自然環境団体などで活躍しています。



【子どもたちとともに育つベランダグリーンカーテン】

附属岡崎小学校

東日本大震災以降、「自分たちでもなにかできないか」という気持ちが高まっています。附属岡崎小学校では、「うちのベランダでも育てているよ」の声をきっかけにツルレイシのベランダ栽培を4年生全員で行いました。夏場に日陰を作って涼しい環境を体感しながら、できた実が日に日に大きくなるのを楽しみながら収穫の時期を待ちました。生き活きと育つグリーンカーテンは、決して節電対策というだけではありません。



【生駒野外実習地で始まった環境教育】

エコキャンパスプロジェクト

豊田市生駒町にある野外実習地は、『愛教大の教育研究のために』と卒業生の方から寄贈いただいた雑木林を含む7,357㎡の農地です。トイレ・水道設備・電源・倉庫等の設置と米栽培とサツマイモ栽培から始まり、農業栽培、生物、環境、食物等の研究・教育のために広く活用する予定です。『イモ掘り・焼き芋・芋煮大会』は雨の上がった少し寒い日でしたが、学生・教職員・近隣の方々と一緒に体験しながら、和気藹々とした雰囲気の中で楽しみました。環境教育の指導者になれる教員も育てられるでしょう。



b. 環境コミュニケーション

環境活動に
参加し快適な
キャンパス
ライフへ！

【環境ミーティング】

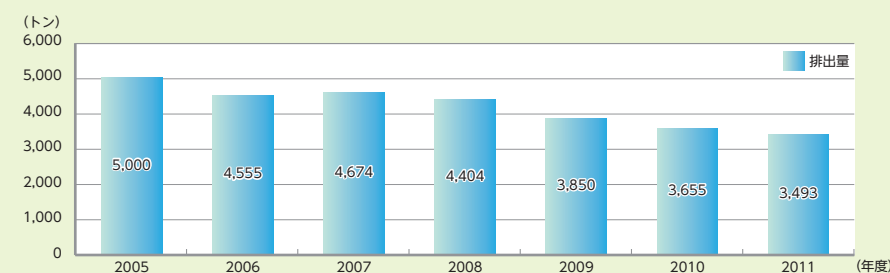
環境問題及び環境への取組について、学生と教職員等とが広く意見交換を行う場が、環境ミーティングです。毎年数回開かれます。2011年度は、日頃から自主的な環境活動に取り組んでいる学生から学内クリーン活動の報告や課題が示されました。また、原発停止に伴う一層の省エネ、4月からの構内全面禁煙についての現状と今後の課題等についても話し合いました。



c. 環境への配慮

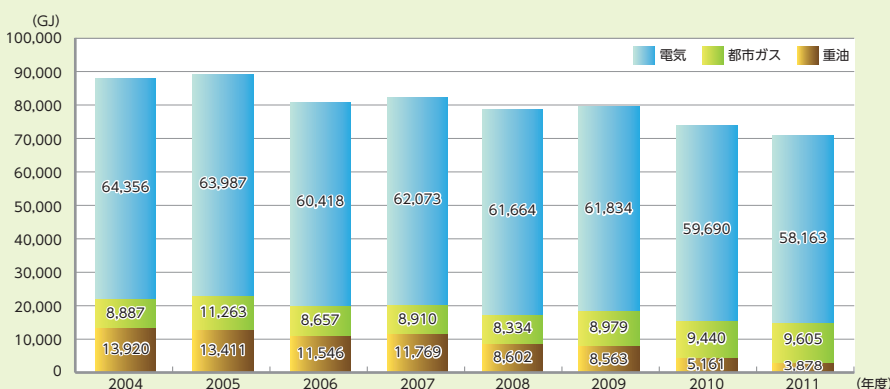
環境重視の
エコキャンパスへ！【二酸化炭素(CO₂)排出量】

2005年度から比較して2011年度では-30.1%を、また対前年度比では、-4.4%を達成できました。



【総エネルギー投入量(GJ)】

本学の過去8カ年の総エネルギー投入量(GJ)を検証すると、2005年度に最も多くのエネルギーを消費し、その後2010年度までは増えたり減ったりを繰り返していました。2011年度は、「緊急節電対策」を実施し、全構成員が今まで以上の省エネ意識を持ち活動を行った結果、過去最も少ない総エネルギー投入量に抑えることができました。これは省エネ活動の大きな成果だと思います。



【水資源使用量状況】

本学の給水使用量は、便所等の節水対策工事や節水啓発活動で年々減少傾向にありました。2011年度は、使用量については2010年度と比較して若干増加しましたが、8月から「地下水浄化設備」稼働したため、約4,487千円の経費を削減することができました。



【省資源・省エネルギー対策】

地下水浄化設備

2011年8月より地下水浄化設備が稼働し、給水の9割以上を地下水でまかっています。地下水浄化設備は、いくつかの処理工程を経て、飲料水として既存の受水槽へ投入しています。地下水の利用は、大学構内の資源を有効利用するだけでなく、大幅な経費削減、余剰水による花壇への散水・観賞池の浄化を可能にしました。また、併設して自家発電設備を設置したことにより、災害時の飲料水確保が可能となりました。



地下水浄化設備フロー図

【花プロジェクト】

「花プロジェクト」は2012年1月から、「豊かな自然を活かした環境配慮型エコキャンパスの創造」に向けて始まった運動です。活動内容は構内整備計画に沿って、花壇の作成から花の植栽・種まきを行うことです。

昨年度は、構内4箇所です新たに花壇やプランターを設置し、そこに芝桜・パンジー・デージー・アネモネ・ストックの苗、計2500本を学生と教職員が協力して植えました。



【キャンパスクリーンディ】

教職員学生ひとりひとりの学内美化に対する意識の高揚と、教育・研究の場にふさわしいキャンパスづくりのため、また大学見学説明会(7月30日、31日)に美しい環境を提供するため「キャンパスクリーンディ」を実施しました。

分別カードを
持ち歩こう！財布等に入れて、いつでも確認
できるようにしておきましょう。

●教育研究活動から出る廃棄物●

種類ごとに分別して専用集積所に運ぶ

●古紙(新聞・OAペーパー等)

運ぶ前に教職員に
聞いてください●実験系廃棄物、薬品類、薬品汚染物、実験廃液、原材料系廃棄物、粗大ごみ
(ガラス・プラスチック器具・試験容器・金属くず等)